

## 善福寺川周辺の樹木と野草

～～樹木シリーズ～～

林 静 (S45 経)

「こんな樹の花があるんだ」の第2弾、善福寺川周辺に咲く綺麗な花をご紹介します。

(写真1)は、「ベニバナトチノキ(紅花栃の木)」です。五日市街道が善福寺川と交わる尾崎橋のすぐ横のマンションの前に10本近くあります。パリで有名なマロニエの樹とアカバナトチノキが交配してできたといわれています。4月から5月にかけて咲きます。ちなみに白い花の咲く「トチノキ(栃の木)」は川沿いの各所にあり、9月にはたくさんの実を落とします(写真2)。

案外知られていないのですが、5月の連休の頃に、白い花を房状に一斉につける樹があります。とても綺麗で見ごたえがあります。白い雲に見立てて「ハクウンボク(白雲木)」という名がついています(写真3)。和田堀公園の釣り堀の近くに数本、尾崎橋の下流左岸に2本あります。永福町から浜田山にかけての井の頭通りの街路樹であるハナミズキやヤマボウシの中に混ざって植えられており、花を咲かせた後は、葡萄のような大きさの実をつけているのが見られますので、是非気を付けてみてください。

皆さんは、ナンジャモンジャの樹はご存知ですか？別名「ヒトツバタゴ」というより、こちらが本名です。白く細い繊細な花弁を持つ花が、あたかも雪が積もったように樹を覆って咲きます(写真4)。近年色々なところに植えられるようになったのでご覧になった方も多いのではと思います。大宮八幡宮の境内に数本あります。深大寺には大きな木がありますね。阿佐ヶ谷と荻窪の団地あとに建っているマンションの周辺にも最近植えられていますので、来年の5月の連休頃にきっと出会えると思います。

(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)

